

単施設用

(調査 ・ 研究) 実施についてのお知らせ

令和 8 年 1 月 26 日

【研究課題名】

外傷性大動脈損傷に対する開胸手術と TEVAR (胸部大動脈ステントグラフト内挿術) の治療成績

【総研究期間】

研究機関の長の承認日～2028年3月31日

【研究対象】

1984年1月1日～2025年12月31日に当院で外傷性大動脈損傷に対して開胸手術、もしくは TEVAR (胸部大動脈ステントグラフト内挿術) を受けられた方

【研究目的・意義】

外傷性大動脈損傷は、迅速な診断と適切な治療選択が生命予後を大きく左右する重篤な外傷である。近年、低侵襲治療として TEVAR (胸部大動脈ステントグラフト内挿術) が普及してきた一方で、従来の開胸手術が選択される症例も存在し、両治療法の位置付けについては一定の見解が得られていない。

本研究では、当院および沖縄県立南部医療センター・こども医療センターの2施設において外傷性大動脈損傷に対して施行された開胸手術および TEVAR の治療成績を後方視的に検討し、術後早期成績および晩期成績を比較検討することにより、治療戦略の妥当性を検証し、今後の臨床判断の質の向上に資することを目的とする。

【研究方法】

1984年1月1日から2025年12月31日までに、当院および沖縄県立南部医療センター・こども医療センターの2施設で外傷性大動脈損傷に対して開胸手術または TEVAR を施行した症例を対象とした多施設後ろ向き観察研究とする。

各施設の診療録および画像記録を用いて、患者背景、損傷部位、治療方法、周術期合併症、在院死亡、再治療の有無、ならびに長期予後について情報を収集し、治療法別に比較解析を行う。

【研究に用いられる試料・情報の種類】

情報：年齢、性別、受傷月日、受傷機転、損傷部位、併存外傷、既往歴、手術・治療内容、手術時間、出血量、周術期合併症、在院死亡（30日死亡）、再介入の有無、外来フォローアップ情報、画像所見、等

※本研究では新たな試料（血液・組織等）の採取は行わない。

【試料・情報の二次利用】

本研究で取得した情報は、本研究目的の範囲内でのみ利用し、研究成果を学会発表や論文等として公表する際には、個人が特定されない形で使用する。他施設を含む追加解析や二次利用を行う場合には、改めて各施設の倫理審査委員会の承認を得た上で実施する。

【個人情報の取扱い】

本研究で取り扱う診療情報は、各施設において研究用 ID を付与して管理し、対応表は各施設の研究責任者が適切に保管・管理する。

研究データはパスワード管理された院内の情報端末または承認された研究用媒体に保存し、研究成果の公表にあたっては、個人を特定できる情報は含めない。

【本研究の資金源（利益相反）】

本研究は特定の企業・団体からの資金提供を受けておらず、各研究者に開示すべき利益相反は存在しない。

【研究実施体制】

本研究に関する問い合わせ先

研究責任者：

沖縄県立中部病院

診療科名：心臓血管外科 部長：伊志嶺 徹

沖縄県うるま市字宮里 281 番地

TEL：098-973-4111（代表）

研究分担者：

沖縄県立南部医療センター・こども医療センター

診療科名：心臓血管外科 部長：阿部 陸之

沖縄県島尻郡南風原町字新川 118-1 TEL：098-888-0123（代表）

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、上記の問い合わせ先にお問い合わせください。南部医

療センターにおける研究に関するお問い合わせについても、上記窓口で対応します。